

三菱ケミカルアグリドリーム
植物工場事業部営業グループ

松田 喜文

NFTの欠点補う 根圏温度を1年中保つ

「かっぱランド」は弊社の25年になる養液栽培技術の蓄積と、高いキュウリの見識を持っており、元増玉圃園試験場の稲山光男顧問が中心となって開発を進め、備を持って本日ご紹介出来るようになりました。

これが「かっぱランド」の特徴



特徴等を語る松田喜文氏

- ①栽培体系(年3作)、②ハード面(NFT・散水毛管水耕)、③苗(苗芽力の増加には繋がりますが、テラス)と、いったい3つの特徴があります。
- ②従来のNFT水耕栽培の欠点を補う「NFT・散水毛管水耕」
- ③苗(苗芽力の増加には繋がりますが、テラス)と、いったい3つの特徴があります。

「かっぱランド」は、①栽培体系(年3作)、②ハード面(NFT・散水毛管水耕)、③苗(苗芽力の増加には繋がりますが、テラス)と、いったい3つの特徴があります。

です。そして草勢が1年間維持出来るので摘心栽培を推奨しています。これらによって1年中収穫することが出来ますし、労力が分散されて周年雇

定植は苗を植穴に差し込むだけ

このほかのメリットとして定植時に苗は植穴に差し込むだけで作業が軽減出来たり、栽培終了時には培養液の供給を止めて作物に吸い切らせることで廃液量が少なくなる、肥料成分も排水基準を下回らせることで環境にやさしいシステムになっています。

培地は使用していないから手間省ける

また、培地を使用していないから植え替え時の手間がかからないし、土壌消毒や土づくりが必要ないので安定した栽培と省力化に貢献します。

苗テラスで育成した自根苗活用

苗テラスで育成したキュウリの水耕栽培に、おいてメインで育てるキュウリ自根苗を活用

了が1月5日、一週間後す。に次作の定植を5月、な約、収量ですが品種値であると考えていま

「かっぱランド」に人生かける

私がキュウリの水耕栽培に取組んだ理由

キュウリの養液栽培は、被覆するだけで真夏でもトマトやイチゴに比べて全く問題なくキュウリが出来ます。

経営面積より収穫面積減らせ

5月から6月にかけては生育スピードが速いので収穫期間は約2カ月に及びますが、それが相対的に収穫面積を増やせる

短期どりを提案

キュウリは収穫が始まるから収穫が始まるまで約60日くらいは継続して収穫出来る

摘葉管理が栽培のポイント

いま摘葉したところで、葉が大きいものが出来る



キュウリのNFT・散水毛管水耕システム開発の中心的ひとりである稲山光男氏

する品種を指定してもらい、苗テラスで自根苗を提供するという形です。

品種選定の制約はとくにない

「かっぱランド」は品種選定について、生産者や産地が希望する品種を指定してもら

コストは土耕とほぼ同じ

稲山氏：ランニングコストも液肥を使うことや培養液を夏に冷却します

質疑応答

根圏に対する水のやり方がポイントになりま

品質

液肥もそんなに濃いものは与えていません。

三菱ケミカルアグリドリーム
技術顧問
稲山 光 男